

## 【水の比較試験】

共有結合の安定性が高く生理活性が高い状態の水は、コスメなど経皮吸収される製品や美容系サプリメントの原料水、また、サプリメントの原料水、食品の原料水としても最適な水だといえます。

Health Wave 加工したものと、未加工の水でレーザーポインターによる比較試験を行いました。

【試験方法】：

①Health Wave 加工水、未加工水をそれぞれ 500ml の同容器に移しレーザーポインター光線をあてて光の透過率、強さを確認。

Health Wave：レーザー光はまっすぐ強く透過。



未加工：レーザー光が弱く広がって透過。

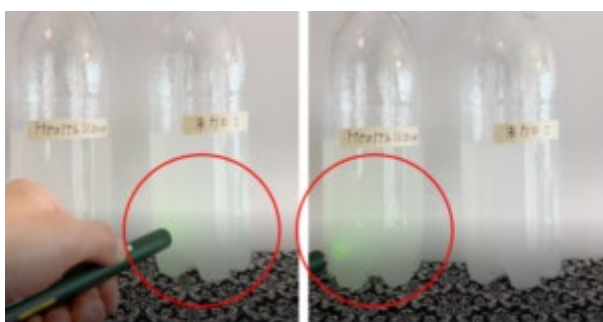


こちらから上記2つの試験の動画をご覧いただけます。↓

<https://youtu.be/1WEdYN7Ko1E>

<https://youtu.be/zty-FZHnzc>

②無色透明の水はレーザー光の反射を見ることができないため消石灰(水酸化カルシウム)をそれぞれの水の中に同量入れレーザー光線をあてて光の透過率、強さを確認。



Health Wave 水はレーザーを強く通しているだけでなく消石灰をいれたことで光の反射が見え全体が緑がかって見えています。レーザーの反射率が高いためと思われます。これは可溶化が強いことを裏づけています。(消石灰が良く溶け込んでいる)

こちらから上記2つの試験の動画をご覧いただけます。

↓

<https://youtu.be/8Bl2V2PSDNc>

<https://youtu.be/hZ3jDWC43Cc>

#### 【結論とまとめ】

・①②の試験共に、Health Wave 水は、未加工水よりもレーザー光がぼやけず、まっすぐに光が強くと透過しています。これは可溶化が強いことを示し、モノを溶かしやすい状態といえます。またイオン化にも優れます。

・消石灰をいれた状態の水の透明度が Health Wave 水の方が少し高くなりました。

共振により、消石灰も微粒子化、低分子化したため溶解度の向上をしたためと思われます。

TERAQOL は粉体、固体、液体に関わらず、微粒子化します。

・TERAQOL 化した水と水道水とで 100cc の水の中にある 1000nm 以下の水分子検出個数測定試験を行った Nano サイトでの試験結果は

TERAQOL 化した水：全て 270nm 以下のトータル個数で 110,200 個の水分子を検出

水道水：水分子検出個数 0 個

・TERAQOL 化した水は共有結合の足が長くなることでマイナス電子の捕縛率の上がり

安定性が高く生理活性が高い状態の水となります。また低分子化、親和性の向上、イオン化、成分の活性化、安定化、表面張力低下をします。